

職員による自己評価と次年度に向けてをまとめました。また、それを受けてコミュニティスクール「代陽幼稚園サポート協議会」委員の皆様には『学校関係者評価』をしていただきました。貴重なご意見を参考に、次年度の保育に生かしてまいります。学校関係者の皆様には、アンケートの記入ありがとうございました。

※職員評価欄…6人評価（18、23は5人評価）をしています。
※学校関係者評価欄…7人評価いただいています。（サポート協議会委員：地域、幼稚園OB、後援会など）

4:十分達成されている 3:達成されている 2:取り組んでいるが十分でない 1:不十分である

4:十分達成されている 3:達成されている 2:取り組んでいるが十分でない 1:不十分である							職員の自己評価と次年度に向けて	
		令和5年度 園評価（職員）	4	3	2	1	平均評価	次年度に向けて
学級の子供たちは	1	安心して園生活が送れていますか	6				4.0	○園生活に慣れ、先生との信頼関係も築かれ、自分を出しながら楽しく遊ぶ子供の姿が見られる。毎日喜んで登園し、のびのびと園生活を過ごしている。 ○基本的な生活習慣が身に付き、自分のペースで取り組んだり、友達同士で声をかけ合いながら取り組んだりする姿が見られる。 ○一学期は先生との関わりを多く求めているが、様々な遊びや活動の中で友達との関わりを楽しめるようになり、二学期後半からは自分から進んでいろいろな友達と関わる姿が見られるようになった。 ○年長組がいいモデルとなり、いろいろな友達と関わり遊ぶ中で、一輪車、まりつき、縄跳びなどいろいろなことに挑戦しようとして、全体での活動時に話をしっかりと聴くことができていたりしている。 ○なかよし集会やクラスの中で挨拶の大切さを知らせてきたことで、特に年長組は自分から気持ちのよい挨拶をするようになった。 ●生活習慣や整理整頓は個人差があるため、常に目配り、気配りをしながら引き続き丁寧な関わりや声掛けが必要である。 ●年少組は、椅子に座って話を聴くことが難しい場面が見られた。引き続き、声かけをしながら、聴き方の意識付けをしていきたい。 ●八代スピリッツは取り組んでいるが、靴をへりに揃えることは声かけが必要な子供がいる。定着できるよう、さらに意識して取り組んでいきたい。
	2	基本的な生活習慣（食事、手洗い、排泄、衣服着脱など）が年齢に応じて身に付いていますか	2	4			3.3	
	3	身の回りのものを整理整頓できますか	1	5			3.2	
	5	同年齢や異年齢の友達と遊びを楽しんでいますか	6				4.0	
	6	いろいろなことに挑戦し最後までやり遂げようとしていますか	3	3			3.5	
	7	自分の考えや思いを先生や友達に伝えることができますか	3	3			3.5	
	8	ス ピ リ ッ ツ 自分から気持ちよいあいさつをすることができますか	2	4			3.3	
9	話す人の顔を見て、話を聴こうとしますか	2	4			3.3		
10	靴のかかとを靴箱の手前のへりに揃えていますか	4	2			3.7		
先生は	11	一人一人の子供に温かく公平にかかわり信頼関係を築いていますか	6				4.0	
	12	一人一人のよさを認め、自分も他人も大切にすることを育てる保育をしていますか	6				4.0	
	13	保護者や地域の人と信頼関係を大切に保育をしていますか	4	2			3.7	
	14	保育参観（運動会などの行事を含む）、個人面談、降園時の話を通して子供の様子や育ちをわかりやすく伝えていきますか	3	3			3.5	
	15	保護者の話を聞いたり気軽に相談しやすい雰囲気や対応をしたりしていますか	4	2			3.7	
	16	体を動かす遊びの充実、遊びの場や計画的な遊びの工夫をしていますか	2	4			3.3	
	17	合理的配慮や一人一人に応じた支援など特別支援教育を推進していますか	4	2			3.7	
	18	子供の遊びの記録と読み取り、保育内容の見直しと工夫、指導計画の見直しなど園内研修の充実に努めていますか	4	1			3.8	
	19	愛情と使命感をもち、子供と共に学び、共感していますか	6				4.0	
	20	報告・連絡・相談ができていますか	6				4.0	
21	不祥事防止に努めていますか（飲酒運転、情報漏えい、体罰、公金横領など）	6				4.0		
園は	22	園の教育方針や教育目標をわかりやすく伝えていきますか	5	1			3.8	○幼小の取組はコロナ禍よりもできるようになり、年長組が小学校の授業の様子も見られた。幼小接続は、今年度小学校の先生方から『育ちの通信』の感想をいただくことができた。相互理解につながっていると感じた。 ○松浜軒や博物館、伝承館、市立図書館などの文化施設を利用できた。ヘルスメイト、老人会の方などとも交流ができた。代陽校区のよさとして大切にしたい。 ●教育方針や目標をたよりやHPなどでできるだけ伝えたが、「わかりやすく」までは、ゆとりがなかったことを反省する。 ●施設の細かな環境整備に手が届いていなかったところがある。
	23	幼小の円滑な連携や接続の取組ができていますか	4	1			3.8	
	24	地域の特色を生かし、周りの自然環境、文化などを取り入れていますか	6				4.0	
	25	安全な保育環境や遊び方について実践や指導をし、事故防止に努めていますか	5	1			3.8	
	26	園だより、園長だより、学級だより、HPなどの情報はわかりやすく伝え、保護者等の関心や役にたつ情報となっていますか	5	1			3.8	
	27	保育室、玄関、園庭、花壇、畑、掲示板などの環境整備や清掃を行い、生活しやすい環境にしていますか	4	2			3.7	
			総合平均評価				3.6	

学校関係者評価							
		評価項目	4	3	2	1	平均評価
子供 たちは	1	登園を喜び、楽しく園生活を送れていますか	7				4
	2	幼稚園生活を通して、心身ともに成長していると思いますか	7				4
	3	気持よくあいさつをすることができますか	2	5			3.3
先生 は	4	一人一人の子供に温かく公平に関わり信頼関係を築いていると思いますか	7				4
	5	一人一人のよさを認め、自分も他人も大切にすることを育てる保育をしていると思いますか	6	1			3.9
	6	保護者の話を聞いたり気軽に相談しやすい雰囲気や対応をしたりしていると思いますか	5	2			3.7
園 は	7	園の教育方針や教育目標をわかりやすく伝えていると思いますか	4	3			3.6
	8	幼小の円滑な連携や接続の取組ができていると思いますか	5	2			3.7
	9	地域の特徴を生かし、周りの自然環境、文化などを取り入れていると思いますか	5	2			3.7
	10	園だより、園長だより、学級だより、HPなどの情報はわかりやすく伝え、保護者等の関心や役立つ情報となっていると思いますか	7				4
	11	保育室、玄関、園庭、花壇、畑、掲示板などの環境整備や清掃を行い、生活しやすい環境にしていると思いますか	6	1			3.9
			総合平均評価				3.8
※気付かれたことや、今後改善を要すると思われることを、ご自由にお書きください。							
・子供たち全員が、安心して園生活を送れており、とてもうれしく思う。少人数の強みを生かして、先生方が一人一人の園児、保護者に愛情をもって丁寧に関わっておられる成果だと思う。 ・子供たちは、明るくお互い楽しく遊び、学んでいるようである。あいさつはよくしてくれるが、恥ずかしがりもあり、幼くもあり、やはり個人差が目立つ。これは万全を期待することはできず、致し方ないものである。 ・行事に参加して気が付いたことであるが、一学期に見た子供たちは二学期になったら目に見えて成長がわかり、楽しみである。 ・少子化により、きょうだいで競うなどで心を揺り動かす体験が減ってきている。幼稚園生活の中で、友達と一緒に遊ぶ楽しさだけでなく、思いの違いから葛藤や挫折など味わう体験が大切になると思う。 ・園庭の様子で先生方の取組が細やかで、皆で一緒に子供たちを育てているところが感じられる。 ・一人一人の特性を見つめ、子供たちが主体性をもって活動できる環境づくりをされていると思う。 ・先生方は、いつも子供たち、そして保護者にも寄り添い関わりをもってくれている。 ・小学校との交流が以前のようにできるようになり、子供たちにとって有意義な活動であったと思う。「育ちの通信」の感想を小学校からもらっており、相互理解や入学に向けてのスムーズな移行に繋がりがよかったと思う。 ・幼小交流活動は、教育課程に位置付け、小学校と共に実施していくことが必要である。交流や授業を通し、自分を振り返ることが大切ではないだろうか。 ・代陽校区の恵まれた環境で、地域の伝統や文化に触れること、その経験や体験が子供の豊かな心をはぐむと思う。これからも大切に伝えていってほしいと思う。 ・自然の中に行って、主体的に遊ぶ体験、例えば、春の野草探しや秋の散歩など、その季節にしか出会えない花や虫、木の実を見つけたりなど、五感が刺激される活動を取り入れてみるのはどうだろうか。 ・園の情報は、丁寧に頂いており感謝している。コロナ禍もそれほど心配しなくてよい状況と思われるので、これからは各種催しにさらに案内いただきたい。できるだけ参加したい。地域の活動を通じて、子供たちに接する機会があるので、子供たちや先生方と特に親しみを感じている。これからも、代陽幼稚園がそのよさを十分発揮していけるよう期待している。制度上の縛りが緩和される方向に動くことが必要であろう。 ・今年度より満3歳児入園の取組が始まり、保育や行事の在り方など試行錯誤の一年であったと思う。今年度の実践を次年度に生かし、幼稚園を希望する子供たちへの質の高い保育の提供を今後お願いする。 ・少子化は確実にし進展し、幼稚園に求められるものも変化していく。預かり保育の工夫、認定こども園への移行など、地域のニーズと予測に応じた対応が必要になると考える。 ・少子化は、日本の問題でもあり、今後も子供数は減少していくことが予想される。幼稚園を必要とされている人達に、市のDX推進に関連したプログラミングやIT関連の講座など他の課と連携してできれば、子供たちにも市にとっても発展に繋がりが特色にもなる気がする。今の先生方の活動が、もっと高く評価されてもよいのではないかと感じる。							